

平成 20 年 10 月 23 日
東京消防庁生活安全課

食べ物を喉に詰ませた救急事故の発生状況

千葉県内の小学校で、児童が給食中にパンを喉に詰ませた事故が発生しました。

東京消防庁管内では、平成 18 年から平成 19 年の 2 年間に食べ物を喉に詰ませた救急事故人数が 2,443 人を数えており、このうち、パンを喉に詰ませたものは、135 人に達します。

食べ物を喉に詰ませると、重大な結果に至るおそれが高いことから、東京消防庁では都民の皆さんに注意を呼びかけています。

1 食べ物を喉に詰ませた救急事故の発生状況

(平成 18 年 1 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日まで)

食べ物を喉に詰ませた救急事故全体の発生状況 (単位: 人)

	2 歳 以下	~ 5 歳	~ 12 歳	~ 19 歳	~ 40 歳代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 代	90 歳 代	合計
ご飯・寿司	18	1	6	1	12	18	38	76	140	67	377
餅	1	4	2	-	8	7	20	86	68	45	241
野菜・果物	48	5	4	2	10	7	24	41	34	25	200
肉・肉加工品	6	3	2	1	24	23	22	43	41	11	176
飴類	63	62	21	2	6	2	3	9	6	1	175
パン類	13	-	-	1	6	5	23	31	39	17	135
惣菜類	6	3	-	-	4	9	11	34	47	12	126
菓子類	23	5	6	1	5	4	5	14	19	12	94
魚・貝類	6	2	2	-	12	2	10	16	19	9	78
麺類	8	1	-	-	3	3	5	16	18	5	59
おかゆ類	10	-	-	-	-	-	3	5	16	21	55
授乳用ミルク	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52
水・湯茶類	9	1			2	1	5	4	18	13	53
その他	58	18	6	7	40	19	51	124	196	103	622
合計	321	105	49	15	132	100	220	499	661	341	2443

【分析】乳幼児と高齢者に多く発生しています。

食べ物を喉に詰ませた救急事故全体の初診時程度別発生状況 (単位: 人)

	2 歳 以下	~ 5 歳	~ 12 歳	~ 19 歳	~ 40 歳代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 代	90 歳 代	合計
死亡	-	-	-	-	-	1	5	14	26	25	71
重篤	3	-	-	-	7	23	52	119	133	63	400
重症	1	-	-	2	2	4	23	47	67	39	185
中等症	16	2	3	-	17	10	33	105	180	106	472
軽症	301	103	46	13	106	62	107	214	255	108	1315
合計	321	105	49	15	132	100	220	499	661	341	2443

(凡例) 死亡 初診時死亡が確認されたもの

重篤 生命の危険が切迫しているもの

重症 生命に危険があるもの

中等症 入院の必要があるもの

軽症 入院の必要がないもの

【分析】重症以上の割合は、都民生活事故全体の平均値（平成19年中3400/109752=3.1%）に比べ、著しく高い数値（656/2443=26.9%）となっています。

パンを喉に詰まらせた初診時程度別発生状況（単位：人）

	2歳以下	～5歳	～12歳	～19歳	～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
死亡	-	-	-	-	-	-	2	2	-	4	8
重篤	-	-	-	-	1	3	7	7	12	1	31
重症	-	-	-	-	-	-	2	2	5	2	11
中等症	1	-	-	-	1	1	4	11	12	4	34
軽症	12	-	-	1	4	1	8	9	10	6	51
合計	13	-	-	1	6	5	23	31	39	17	135

【分析】・高齢者に多く発生しています。

・重症以上の割合（50/135=37.0%）は、喉に詰まらせた事故全体における割合（656/2443=26.9%）に比べ、10ポイント以上高くなっています。

2 食べ物を喉に詰まらせた救急事故の主な事例

平成18年1月、日野市内の住宅で食事中的男児が、ソーセージを喉に詰まらせた（1歳男児・重篤）。

平成18年1月、品川区内の住宅で食事中的女性が、パンを喉に詰まらせた（16歳女性・軽症）。

平成18年3月、大田区内の住宅で食事中的女性が、シューマイを喉に詰まらせた（18歳女性・重症）。

平成18年3月、多摩市内の住宅で食事中的女性が、ピラフを喉に詰まらせた（19歳女性・重症）。

平成18年4月、墨田区内の住宅で女児が、ピーナツを喉に詰まらせた（1歳女児・重症）。

平成18年4月、練馬区内の住宅で食事中的男児が、パンを喉に詰まらせた（1歳男児・中等症）。

3 事故防止のポイント

食事は少しずつ、よく噛んで食べるようにする。

幼児や高齢者の食事は、家族と一緒に摂るなど特に注意する。

万が一に備え、救命講習を受講するなど応急手当の方法を身に付けておく。